

アンケート調査全体について

委員名	意見・質問	回答
委員	○印の記入数について 全てとか1つ、上位3つ、5つなど仕分ける理由が知りたい。特に就労、就学については選べない（決められない）ところがある。むしろ全てのほうが記入（答えやすい）しやすいのではないのでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 選択してもらう項目をいくつか選んでもらうということは、回答にどのような傾向があるかをみるためのものです。確かに全てに当てはまる場合があると思いますが、「おもに3つ」などと制限をかけることで、回答者の傾向が見えてくるため、選びにくいかもしれませんが、質問によっては制限をかけることにしたいと思います。
委員	聴覚障がいの方、視覚障がいの方については身体障害者手帳を所持されている方全員となっていますが、その理由を教えてほしいです。	ご意見ありがとうございます。 今回、書面協議の資料としてもお送りさせていただきました、「栗東市手話言語条例」「栗東市市民をつなぐ情報・コミュニケーション条例」の施行にともない、本委員会を条例推進のための協議の場と位置付けております。そのため、より多くの聴覚障がいのある方と視覚障がいのある方のニーズを把握することが必要と考えたためです。
委員	知的障がいの方を想定してルビを打っているのだと思うが、全体的に文章量が多く、たとえルビを打ったとしても、十分に内容を理解して回答することは難しい内容のように思います。もう少し簡素化したアンケートにしたほうがよいと思います。また、最終頁にある、障がい福祉サービスの解説についても、当事者の方目線だとかなり難しい説明文だと思います。まずは、アンケート実施対象者に合わせた内容や表現の仕方など、全体的な見直しが必要ではないのでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘のとおり、文字数、設問ともに多く、障がいのある人当事者が十分に理解して回答してもらうことが困難な場合もあると思われます。今後の障がい福祉施策として、どのような取組みが必要かを検討していくためには、必要な設問であると考えています。おひとりで回答することが難しい人には、ご家族に支援いただきますようお願いするところではありますが、ご家族の支援が難しい方に対して、市としましては、民生委員さん、各支援機関へにもご協力を依頼させていただきます。障がい福祉課でも随時ご質問等をお受けいたします。

委員名	意見・質問	回答
委員	視覚障がいの方には拡大とか点字とか、配慮されているのでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 点字版については、今回は考えておりません。今後、コミュニケーション条例の施策の中で検討していきます。
委員	意見要望などの記入があったものに対して、どこかでそれに対する回答などはどうされていますか。←以前記入したけど、特に何も無いと言っておられる方がいたため。	ご意見ありがとうございます。 意見、要望については、施策に反映できるものについては取り入れています。広報等で公開はしておりません。
委員	視覚障がい者（特に全盲の方）へのアンケートは家族なりが作成することになるのでしょうか。可能なら点字による調査票はできないかと思います。	ご意見ありがとうございます。 視覚に障がいがある人の回答については、ご家族や支援者にご協力をいただけたらと思っています。点字版については今回は考えておりません。
委員	視覚障がいの手帳をお持ちの独居の方、希望者のみ（聞き取り）⇒市内に何名くらいおられるのでしょうか。全員にしたらどうでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 視覚障がいをお持ちで独居の人は2名把握しておりますが、視覚障がいの手帳をお持ちの人は市内に130人程おられます。全員に聞き取りは時間的にも難しいため、ご家族や支援者にもご協力をいただきたいと考えています。